

# 大地震発生!!

## 身の安全を確保

特に上から落ちてくるもの、倒れてくるものに注意が必要です。

### 施設内で被災

### 施設外で被災

## むやみに移動しない（原則72時間）

一斉に駅などに向かうと、混乱につながり大変危険です。  
【施設内待機】建物が安全であれば、事業所や学校等に待機しましょう。  
【安否の確認】家族や知人に安否情報を伝えましょう。

**地震により建物が損傷し危険！  
大きな火災により、危険が迫っている！**

## 避難場所へ移動（上野公園一帯・谷中墓地・隅田公園一帯）

一時滞在施設開設までの間、避難場所で待機しましょう。

### 【一時滞在施設】順次開設後

## 一時滞在施設へ移動

避難場所から、指定された一時滞在施設へ徒歩で移動します。

## 状況が落ち着いたら

運転再開した交通機関や徒歩で帰宅

## 避難所

（区立の小・中学校など）  
地域の避難所は、地域住民のために開設されます。  
原則として、**帰宅困難者は利用できません。**

# むやみに移動しない!

## 台東区 帰宅困難者 防災ガイド

### 一斉帰宅の抑制

- 人命救助最優先  
災害発生時、大量の帰宅困難者が一斉に帰ろうとして道路が塞がると、警察・消防・自衛隊の車両が現場に到着できず、消火・救助・救命活動ができません。
- 二次被害の防止  
災害発生後すぐに帰宅するのは余震による建物崩壊や群衆雪崩などの二次被害に遭うおそれもあり、大変危険です。
- むやみに移動しない  
災害発生時はむやみに移動せず、できるだけ安全な場所に留まりましょう。

### 日ごろからの心がけ

- 災害時に帰宅できないことを念頭に、家族や知人との連絡体制を確保しておきましょう。
- 事業所は、災害時に施設内で待機できるように備蓄品などを準備しておきましょう。

### 上野駅周辺滞留者対策推進協議会

事務局: 台東区危機・災害対策課 03-5246-1094

令和2年1月版



### 台東区防災アプリ配信中

- 「帰宅困難者支援候補施設」や「帰宅困難者防災ガイド」を確認できます。
- 「防災地図」や「水害ハザードマップ」などの資料を提供しているほか、東京都等の防災情報にリンクしており、平時から防災に関する情報が閲覧できます。
- 「英語」「中国語(繁体字・簡体字)」「韓国語」に対応しています。
- GPS機能により、オンラインマップ上で現在地の把握ができます。
- 電波が途切れても、オフラインマップにより、避難行動を支援します。



### 安否確認の方法

「NTT東日本災害用伝言ダイヤル(171)」や携帯電話の災害用伝言板サービスを活用し、家族や知人とお互いの安否を確認しましょう。

#### 災害用伝言ダイヤル

171 伝言を登録する場合 1 の後  
171 伝言を再生する場合 2 の後  
→ 電話番号(固定電話は市外局番から入力)

#### 通信各社の災害伝言板QRコード



### 正確な情報収集

混乱を避けるため、正確な情報を収集して、落ち着いて行動しましょう。災害時には、以下のサイトから帰宅支援や被害情報などが入手できます。

#### 東京都防災ホームページ

<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp>



#### 東京都防災Twitter

@tokyo\_bousai (ID:tokyo\_bousai)

#### 台東区ホームページ

<http://www.city.taito.lg.jp/>



#### 台東区Twitter

@taito\_city

### 帰宅困難者用支援施設

災害発生時に、休憩やトイレの利用、災害情報の提供など帰宅困難者への支援を行うための施設です。

#### 一時滞在候補施設

戻る場所のない帰宅困難者が滞在できる施設です。滞在期間は、交通機関が復旧し帰宅が可能となるまでの最大3日間です。



台東区帰宅困難者用支援施設マップ(裏面)でこの標記がされている施設です。

#### 徒歩帰宅支援候補施設

帰宅困難者に対して、一時的な休憩やトイレの利用、テレビ等で情報提供を行う施設です。



台東区帰宅困難者用支援施設マップ(裏面)でこの標記がされている施設です。

#### 災害時帰宅支援ステーション

災害発生時に水道水やトイレ、情報の提供を受けられる店舗です。(コンビニエンスストアやガソリンスタンドなど)



目印はこのステッカーが掲示されている店舗です。